

ぶらりわが街宮沢界限

(25) 青梅線の今—|—|—立川駅～拝島駅

①立川→→→②西立川→→→③東中神→→→④中神→→→⑤昭島→→→⑦拝島
1.9km 0.8km 0.9km 1.4km 1.9km

① 立川駅—(1)所在地 立川市曙町(2)開業日 明治22年(1889)4月1日(3)旅客ホーム数 4面8線(4)1日の乗車客数(*2011年度の各地方自治体が発表した平均数値) 158,868人(5)接続路線 中央本線・南武線・多摩モノレール

北多摩・西多摩地域の拠点(きょてん)で、駅周辺は商業地域が発展している。乗車客数は23区以外のJR駅では東京都では第1位。平成19年(2007)9月30日、青梅線「1番ホーム」復活。中央本線からの直通下り列車は、立川駅を出ると旧五日市鉄道(五鉄)が敷設(ふせつ)した「青梅短絡線」を通り西立川駅の手前で青梅線に入る。

② 西立川駅—(1) 立川市富士見町。住宅表示は立川市だが駅構内は昭島市東町にまたがる。(2) 昭和5年(1930)7月16日(3) 1面2線(4) 6,361人(5) なし

戦前は駅の北側は陸軍施設で、戦後は米軍立川基地となつた。昭和52年(1977)11月30日に全面返還され、昭和58年(1983)10月26日に跡地の中央部分が「国営昭和記念公園」になり、現在は駅の公園口と歩道橋で直結している。発車メロディー平成18年(2006)から、雨の西立川駅で始発電車を待つ少女(自分自身)の心情を歌った、荒井由美(現松任谷由美(まとうやゆみ))の「雨のステーション」を使用。公園口の右手前に駅舎改築を記念してその歌碑も平成10年(1998)10月に設置されている。—「雨のステーション」というのは、雨といっても、ザアザア雨でなくて、霧雨というシトシト雨で、西立川のお話なのね。 松任谷由美著「ルージュの伝言」角川文庫より。

③ 東中神駅—(1) 昭島市玉川町(2)昭和17年(1942)7月1日(3) 2面2線(4) 6,868人(5) なし

西立川駅～東中神駅間は0.8Kmに過ぎず、お互いに隣の駅が見える青梅線で一番短距離。木造駅舎は南側に改札口があり下りホームに接続、上りホームには、朝夕のみに使用される北口臨時改札がある。開業時は現在と逆に北口に駅舎があった。軍需工場の航空工廠(こうしょう)が駅の北東にあつたため、しかし、終戦に伴い航空工廠が米軍に接收された一方、南側の住民から南口開設の要望が始まり、昭和24年(1949)秋、南側の昭和公園相撲場で第4回国民体育大会が開催されると、南口開設の声が一層大きくなり、昭和25年(1950)4月に駅舎は南口に移り、北口は閉鎖された。現在、法務省の国際法務総合センター建設計画等により、自由通路を含めた駅舎橋上(きょうじょう)化が検討されています。駅前には、「アキシマクジラ」の看板やネオンが目につきます。「くじらロード」商店街、ロータリー南西側口には、平成20年(2009)8月に設置の「たまちゃん・あきちゃん」の可愛いモチーフがあります。

記

防犯宮沢支部 西山 禎一

